

広報

さよう

3

Vol.246
令和8年(2026)

人と地域 行政をつなぐ まちの総合情報誌

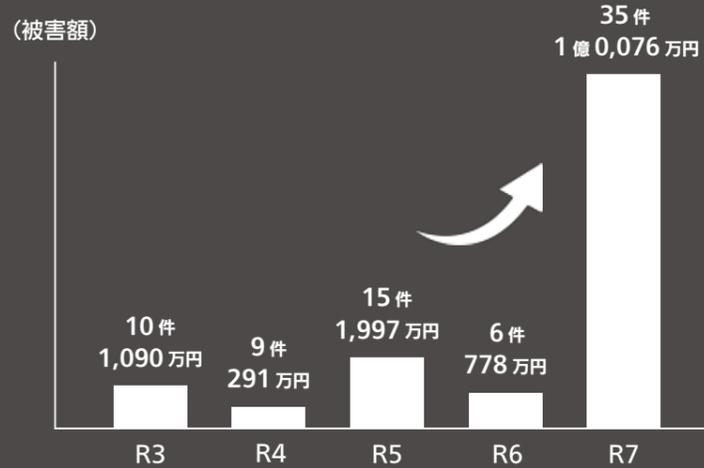
Sayo Town Public Relations

かるたで まちを知る

町子ども会は初めてとなる「かるた大会」を開催し、佐用の名所や特産品が描かれた手札で地域愛を育みました。(関連6ページ)



身近で“急増”する特殊詐欺被害



左のグラフは、たつの警察署管内（佐用町、たつの市、太子町）における特殊詐欺の被害件数と被害額を示しています。

昨年は、被害額が一挙に1億円を超えました。兵庫県全体でも約85億円の被害が発生しており、特殊詐欺はまさに「急増」し、深刻な状況となっています。

増える巧妙な手口

ケース①

警察官を騙る詐欺

警察官を名乗り「あなたの口座が犯罪に使われている」「逮捕状が出ている」などと不安をあおり、考える時間を与えず金銭や個人情報などをだまし取る詐欺です。



ケース②

固定電話にかかってくる詐欺

固定電話にかかり「未納料金がある」「手続きが必要」などと不安をあおり、お金の振り込みや番号の入力をさせる手口の詐欺です。



ケース③

SNS型 投資詐欺 ロマンス詐欺

SNSを通じて「必ずもうかる」などの巧みな言葉で投資を持ちかけたり、マッチングアプリなどで恋愛感情を抱かせ、金銭をだまし取る詐欺です。

この詐欺は、特殊詐欺とは別に分類されており、近年は特殊詐欺をはるかに上回る被害が出ています。

昨年の県内の SNS 型詐欺の被害額

143億1,061万円

佐用町の予算額 130 億円を上回る被害が出ています



その警察官、
本物ですか。

何気なく取った一本の電話――

相手は、落ち着いた声でこう名乗ります。「役所です」「銀行です」――そして、「警察です」。信じてしまいそうになるその言葉の裏に犯罪が潜んでいます。

いま、警察官を騙る手口をはじめ、さまざまな特殊詐欺が増えています。不安をあおり、考える時間を与えず、お金や大切な情報をだまし取る卑劣な詐欺です。被害は、誰にでも起こります。

そう、たつ佐用町でも――

あなたは「自分は大丈夫」と思っていますか。いえ、そんなことはありません。ここ数年は町内でも被害があり、魔の手はあなたの足元にまで忍び寄っています。

今号では、改めて特殊詐欺のことを「知り」、「備え」、自分ごととしてとらえるきっかけづくりをお手伝いします。

「知る」ことが、最大の防御

特殊詐欺は、事前に手口を知っておくことで防ぐことができます。「急がせる」「相談させない」などの特徴を理解し、被害を未然に防ぎましょう。少しでも怪しいと思ったら相談をしてください。

1 急がされたら、詐欺を疑え



「今すぐ」「今日中に」は危険信号。判断を急がせ、考える時間を奪うのは詐欺の常とう手段です。

2 ひとりで決めない、必ず相談



「誰にも言わないで」は詐欺の合言葉。家族や友人、警察に話すだけで、詐欺はほぼ見抜けます。

3 お金・個人情報は絶対に渡さない



警察や役場が電話やSNSで、お金や暗証番号を求めことはありません。要求された時点で詐欺です。

落ち着いて… **止まる。切る。相談する。**

町消費生活センター
82-0670

消費生活全般に関する疑問を専門の相談員が答えます。

警察相談専用電話
#9110

警察に緊急ではない悩み事などを相談できます。

消費者ホットライン
188

架空請求など、消費者トラブルを相談できます。

県警音楽隊が桜まつりにやってくる

桜まつり で防犯を呼びかけ

- 日時 **3月29日** 午前10時～午後2時
- 場所 笹ヶ丘公園
- その他の内容
 - ・谷本賢一郎さんコンサート
 - ・農産・特産物、飲食物の販売 など
- 駐車場 笹ヶ丘公園・旧久崎小学校
※旧久崎小からはシャトルバスを運行します



商工観光課 ☎82-0670

「自分はだまされない」

そう思っていた人が、被害に遭っています。特殊詐欺は、すぐそばにあり、誰にでも起こる犯罪です。だからこそ、守る力は家庭から生まれます。何気ない会話が、被害を防ぐ第一歩です。

佐用町で安全安心に過ごしていくために

立ち止まって相談することが大切です

警察官や役場、銀行を名乗る電話や、SNSを通じた投資話、恋愛感情につけ込む手口など、特殊詐欺は年々巧妙さを増しています。被害は高齢者だけでなく、若い世代にも広がり、誰にでも起こる身近な犯罪となっています。

しかし、特殊詐欺は未然に防ぐことができる犯罪でもあります。その第一歩が、家庭での声かけや日常的な会話です。「こんな電話があった」と話題にすることで、被害の芽を早く摘み取ることができます。

特殊詐欺には、「今すぐ対応して」「誰にも相談し



佐用警察センター
西川正明 連絡調整官

「自分はだまされない」と思わず、不安を感じたら警察へ相談してください。家庭・地域・警察が力を合わせ、安全安心な佐用町をつくっていきましょう。

「自分で」など、判断を急がせる共通の手口があります。こうした特徴を知っておくことで、一度立ち止まることが出来ます。

「家庭で話し合う」から始まる詐欺防止

小学生が家族へメッセージ

たつの警察署では、昨年12月に町内の小中学校へ、特殊詐欺防止の啓発への協力を依頼しました。

これを受け、町内の小学校では特殊詐欺を学ぶ授業を行い、児童が「家族への手紙」を書いて、親族が集まる年末に家庭へ届けました。このような、家庭で話し合うきっかけづくりを通して、詐欺被害防止の啓発を進めています。



家族に向けて、想いを込めた手紙を送りました

「防げる」犯罪です

特殊詐欺は

2/6 日本で暮らす彼らの目には

佐用日本語学校スピーチ大会



(左) 中上級部門 最優秀賞 リドゥミさん (スリランカ)
(右) 初中級部門 最優秀賞 ハサンさん (バングラデシュ)

佐用日本語学校は、留学生たちが日本で感じたことを発表する「スピーチ大会」をさよう文化情報センターで開催しました。

校内から選ばれた16人が、自分の言葉で身振り手振りを交えながら発表。「佐用の環境だからこそ勉強に集中できた」などの真っすぐな言葉に、会場は温かく優しい空気に包まれました。

2/7 2年ぶりに“特選”で全国へ

第73回兵庫県広報コンクール



「佐用の肉」特集。開けばおいしい香りがしてくるかも

令和7年中に県内の各市町で発行された広報媒体の中から優秀な作品を選ぶ「県広報コンクール」で、広報さよう12月号が、広報紙部門(町の部)で特選に選ばれました。

次の舞台は全国大会。佐用町の名前が、さらに広く知られるきっかけになります。ぜひ、もう一度手に取って読んでみてください。

1/29 身近にあるプラ製品を学ぶ

(株)ダイセルが小学生へ出前授業



プラスチックのもつさまざまな機能を学びました

森林のあり方を考える町と、理系人材の採用に悩みを抱える(株)ダイセルが協力し、同社が町内の小学校で出前授業を行いました。

木材から作られるプラスチック製品が身近にあることを学んだ児童たち。漆原惟月さん(上月小6年)は「化学に興味をもつことができた」と、関心を示していました。

2/7 笑顔集まる高校生カフェ

姫新線利用促進をめざして



高校生の優しいおもてなしに、笑顔が集まりました

佐用高校 JRC 部は、上郡町の中高生と協力し、姫新線の利用促進を兼ねた「高校生カフェ」をコバコ Work&Camp で開催しました。

開店と同時に満席となり、行列ができるほどの盛況ぶり。同部長の神原緋弥喜さん(佐用高3年)は、「活動を通して、地域の人と知り合えるきっかけになった」と手応えを話しました。

1/24 かるたで育む郷土愛

第1回子ども会かるた大会



静寂の中に「はい!」という元気な声が響きました

町子ども会連絡協議会は、子どもたちの交流の機会になればと、初めて「かるた大会」を三日月地域交流センターで開催しました。

使用されたかるたは、町の名所や名産などが描かれた「佐用ふるさとかるた」。参加した子どもたちは、かるたを楽しみながらふるさとのことを知り、会場は温かな空気に包まれました。

1/29 ありがとう、櫛田の大木

櫛田のランドマークが伐採



「ありがとう」と声をかけるように別れを惜しむ長田さん

櫛田集落のランドマークとしてたたくもみの大木。樹齢300年を超える大木は、地域住民を見守ってきましたが、朽ちて倒れるおそれがあり、このたびやむなく伐採されました。

大木が庭に植わっていた家主の長田まさなおさん(櫛田)は、「少し寂しくなるな」と、短くなる大木を静かに見つめていました。

1/23 国境を越える女子会

佐用高校家政科と佐用日本語学校が交流会



同年代の生徒たちは、自然に打ち解けていました

佐用高校家政科と佐用日本語学校の女子生徒が、お互いの文化を知り、親交を深めようと交流会を開きました。

民族衣装を着た日本語学校の生徒が、それぞれの国の文化を紹介し、その後はお茶タイムで交流。高谷莉旺さん(横坂)は「貴重な体験ができた」と女子トークに花を咲かせていました。

1/24 憧れの YouTuber と特訓

町少年軟式野球協会 野球教室



真剣な表情で打撃指導を受ける子どもたち

佐用ワープジュニアは、創立10周年を記念し、ゴリラスポーツ(口長谷)の協力を得て、人気 YouTuber「ミノルマン」の野球教室を南光スポーツ公園で開催しました。

松尾朝陽主将(上月小5年)は、「ホームランを打てる振り方を教えてもらった」と、憧れの人からの指導に目を輝かせていました。



「久崎老人福祉センター」「ふれあいの里三日月」

4月から使用申請の窓口が変わります

monthly information



「久崎老人福祉センター」と「ふれあいの里三日月」にあった町社会福祉協議会の事務所機能は、4月から町社会福祉協議会本部（南光地域福祉センター）に集約されます。これに伴い、両施設の使用申請窓口が変わりました。



久崎老人福祉センター

(久崎 283-2)



上月支所

問地域振興室 ☎86-0331

変更後



ふれあいの里三日月

(下本郷 647-1)



三日月支所

問地域振興室 ☎79-2001

問町社会福祉協議会 ☎78-1212

高年介護課 ☎82-2079



期限内に申告してください

確定申告は3月16日(月)までです

monthly information



令和7年分所得の申告相談会場の開設は3月16日(月)までです。申告が必要な人は期限内に申告してください。期限後は、税務課で申告を受け付けることはできませんのでご注意ください。期限後の相談は税務署へお願いします。

■確定申告と納税は期限内に！

確定申告は、提出だけでなく納税も期限内に行う必要がありますのでご注意ください。

また、個人事業主は、消費税および地方消費税も期限内の納付をお願いします。

■納期限

・所得税および復興特別所得税

3月16日(月)

・消費税および地方消費税

3月31日(火)

■e-TAXならいつでも申告ができます

e-TAXなら自宅で24時間いつでも申告が可能です。



■もしも期限を過ぎたら…

期限を過ぎても確定申告書の提出はできますが、申告や納付が遅れると、内容によっては無申告加算税や延滞税がかかる場合があります。

また、還付を受ける人は、申告が遅れると還付までに時間がかかります。期限後の手続きや納付方法など、不明な点がある場合は早めに税務署へご相談ください。

問相生税務署

☎0791-23-0231

税務課

☎82-0662



窓口での手続きがスムーズに

キャッシュレス決済サービスが始まります

monthly information



役場の窓口での各種手数料などの支払いに、スマートフォンやクレジットカードが使えるキャッシュレス決済を、4月から導入します。現金での支払いも、これまでどおり可能です。ご自身の使いやすい方法を選んで利用できます。

●キャッシュレスサービス対応窓口

住民課、税務課

●手数料

現金支払いと同じです

●利用可能な手数料の種類

住民票、印鑑登録証明、戸籍謄(抄)本、所得証明、課税証明など各種証明書発行に必要な手数料

●支払い対応マネー

【クレジット】

VISA、MASTER、JCB、AMEX など

【電子マネー】

iD、WAON、QUICPay、楽天Edy、nanaco、交通系マネー など

【コード決済】

PayPay、d払い、auPAY、楽天Pay、メルPay、ゆうちょPay など

■コンビニ交付端末でもご利用できます

住民課に設置している端末でも、同様にキャッシュレスサービスが利用できます。

問情報政策課 ☎82-0690



シルバー人材センター会員募集

まだまだ、活躍の場所がここにはある

monthly information



シルバー人材センターでは、会員として活動する人材を募集しています。草刈りや清掃、軽作業など、地域に必要とされる仕事がたくさんあります。自分のペースで働きながら、地域と関わる時間を増やしてみませんか。

●募集要件 ※以下のすべてにあてはまる人

- ・町内在住
- ・健康で働く意欲のある60歳以上
- ・健康保険に加入している

●年会費

3,600円

※途中退会でも返金はできません

●主な作業内容

施設管理、施設清掃、草刈り、剪定、樹木の伐採、お墓の清掃、障子の張替えなど

■こんな人におすすめです

- ・無理のない働き方をしたい
- ・経験を生かして地域に関わりたい
- ・空いた時間を有効に使いたい
- ・人とのつながりを大切にしたい など

■入会受付

平日の午前9時から午後5時まで、生きがづくりセンター（佐用共立病院上）で入会を受け付けています。

問シルバー人材センター ☎82-3630



百歳バンザイ

100歳の誕生日を迎えたかたを紹介します。
今月は、大正15年1月生まれのかたです。



衣畑 千里さん
(山脇)



小林 かずゑさん
(横坂)



西はりま 天文台だより

第58回 しし座の三つ子銀河



はるかな宇宙に浮かぶ 三つの銀河のきらめき

春を代表する星座のひとつに「しし座」があります。しし座の足元には、仲良く並んだ「三つ子銀河」と呼ばれる場所があります。

「銀河」とは、数千億個の星が集まった大集団のこと。宇宙にはこのような銀河が数えきれないほど存在し、それらが互いに重力で引き合って「銀河群」というグループを作っています。しし座の三つ子も、そんな銀河群のひとつです。

これらの銀河は地球から約3,500万光年かあなたにあり、目にすることが難しいほどかすかな光です。しかし、街明かりのない真っ暗な夜空と、口径2メートルのなゆた望遠鏡があれば、その姿を捉えることができます。

鏡面を再生する処理によって新品同様によみがえったなゆた望遠鏡で、壮大な宇宙の奥行きを感じてみませんか。

兵庫県立大学 西はりま天文台
准教授 本田敏志



3月はマイレール月間です さあ、姫新線に乗って出かけよう



年間乗車人員の目標である300万人の維持・向上と、沿線地域のさらなる活性化をめざして、西播磨県民局は3月を「マイレール月間」として、さまざまな企画を行います。ぜひこの機会に姫新線に乗って、私たちの大切な鉄道を一緒に守りましょう。

■チャレンジ 300万人の歴史

平成21年度に利用者が238万人まで減少した姫新線。そこで、沿線自治体と兵庫県、JRが連携し、新型車両の導入やパーク&ライドの整備など、利用促進に取り組んだ結果、平成27年度には年間乗車人員300万人を達成することができました。

コロナ禍で大きく落ち込んだ時期もありましたが、令和5年度からは再び300万人を突破し、現在も維持しています。

●実施期間

3月1日⑩～3月31日⑩

●実施内容（予定）

- 利神城と平福ガイドツアー [3/14 ⑩]
姫新線を利用した体験ツアー
- 佐用駅周辺の清掃活動 [3/23 ⑩]
佐用高校生が、日ごろの感謝の気持ちを込めて清掃活動を行います
- ノベルティグッズの配付
ステッカーやクリアファイルなどを作成し利用者に配付します。

※内容を変更することがあります。詳しくは、町ホームページをご確認ください。

企画防災課 ☎82-0664



動物と出会い、優しさを感じる一日

見て、なでて、感じる「ふれあい移動動物園」



monthly information

モフモフの毛をなでたり、じーっと見つめたり。動物とのふれあいは、心が動く体験です。子どもやその家族と一緒に動物たちと触れ合う中で、そんな優しい気持ちを育んでもらえたら――。そんな願いを込めて、「ふれあい移動動物園」を開催します。

- 日時 3月20日⑩⑪
午前10時～午後3時
- 場所 いこいの広場（佐用小学校西側）
- 対象 町内在住の小学6年生まで
- エサやり体験 先着100人

●その他

- ・100人を超えた場合は、1皿300円で体験できます。
- ・雨天時は笹ヶ丘ドーム（久崎）で開催します。その場合は午前8時30分に防災行政無線でお知らせします。

健康福祉課 ☎82-0661





図書館

今月の新着図書から司書がおすすめする3冊を紹介しします

新着本情報



『日本人の幸せ
—ウェルビーイングの国際比較』

- ▶ 著書 内田由紀子
- ▶ 出版 中央公論新社

他国との比較を通して、日本人の幸せの特徴を探り、地域や職場、学校での幸せを考える一冊。



『2000坪の荒地をひ
とりで開拓してキャンプ
場をつくったオーナー
七転八倒 DIY奮闘記』

- ▶ 著書 中山茂大
- ▶ 出版 山と溪谷社

DIYで古民家再生をやってのけた著者が挑んだキャンプ場づくりと経営の実録エッセイ。



『畑で使える！
有機資材とことん活用術』

- ▶ 著書 和田義弥
- ▶ 出版 山と溪谷社

処理に困る竹や草、落ち葉などを畑の資材として活用する方法を写真やイラストで解説する。

Library info

☎82-0874

開館時間 午前10時～午後6時

月曜日・祝日休館

3月、4月の休館日

● 3月 9.16.20.23.30.31

● 4月 6.13.20.27.29.30

図書館からのお知らせ

event 1

掘り出し物があるかも

リサイクル市&ひと箱市



図書館で置けなくなった本や雑誌、家で読まなくなった本をお譲りします。

- 日時 3月28日④、29日⑤
午前10時～午後5時
(29日は午後3時まで)
- 場所 さよう文化情報センター
- その他

- ・持ち帰る袋はご持参ください。
- ・ひと箱市に本を出したい人は、事前申込が必要です。詳しくは、図書館までお問合せください。

event 2

「ちしきの本の星めぐりマップ」を配布します



幼い利用者さまにさまざまな種類の図書に親しんでもらうきっかけに、「ちしきの本の星めぐりマップ」を配布しています。

- 対象年齢 4歳以上
- 期間 3月29日⑤まで
- 参加方法

図書館で配布しているマップに「どうぶつ」「しょくぶつ」「うちゅう」など、指定されたテーマの本を読んで書名を書き込むと、カウンターでスタンプを押します。

マップを完成させると、プレゼントがもらえます。

若者グループ活動応援事業



活動グループの報告会を開催します

monthly information



やってみよう！を応援する「佐用町若者グループ活動応援事業」は、今年度採択されたグループが、佐用町をより良くしたいという思いをもって、約半年間活動してきました。その取り組みの成果を発表する報告会を開催します。

●日時

3月28日④ 午後2時～

●場所

さよう文化情報センター 会議室2・3

●報告グループ

学生チャレンジグループ

○ココカラ・ラボ

プログラミング教室の開催

○佐用高校 JRC 部

高校生カフェなどのイベント開催

若者グループ

○県境の景観を守る会

杉坂峠、万能峠の不法投棄撲滅活動

○子どもの人権をまもる会

子どもの人権を守るためのワークショップ

○同志社大学商学部関ゼミ

佐用町産クラフトビールの企画・開発

☎企画防災課 ☎82-0664

Pick up

第3回西播磨ビジネスプランコンテスト

岡田龍樹さんが最優秀賞に輝く

西播磨地域の課題をビジネスの手法で解決しようとする志を持つ人材の発掘・育成をめざし、新たな起業を支援する「西播磨ビジネスプランコンテスト」。

昨年12月に播磨科学公園都市で行われた決勝大会で、14組のファイナリストがプレゼンテーションを行い、その中で佐用町の岡田龍樹さん（円応寺）が見事、最優秀賞と佐用町賞に輝きました。



西播磨県民局長から表彰を受ける岡田さん（右）



岡田さんのビジネスプラン

佐用に地酒を復活させる

～マイクロ地酒で地域活性化～

町がもち大豆みそ加工所を新たに整備したことにより、使用用途が決まっていなかった「ふれあいの里上月加工所（福吉）」を活用し、もち大豆を材料の一部に使用する酒造りに挑みます。

大学卒業後、姫路市安富町の酒造所で酒造りを一から学び、「いつか地元で酒造りを」と一念発起。その営業理念を高く評価された岡田さんは、「佐用産の材料を使い、まずは町民に愛されるお酒になれば。このお酒をきっかけに、町ににぎわいや活気が生まれたらうれしい」と意気込みました。

健康カレンダー

もの忘れ・心のケア相談など

場所：町保健センター

月日	内容	時間
3/19	デイ・ケア (精神障がい者社会復帰訓練事業)	13:30～15:30
4/2	こころのケア相談 (要予約)	13:00～
3/12	アルコール相談 (要予約)	13:30～

健康福祉課 ☎82-0661

場所：龍野健康福祉事務所

月日	内容	時間
4/3	こころのケア相談 (要予約)	13:00～15:00
3/23 4/7	エイズ・肝炎相談 (要予約) HIV・肝炎ウイルス検査 (要予約)	13:15～14:30
3/9 4/13	専門的栄養相談 (要予約)	10:00～11:30

龍野健康福祉事務所 ☎0791-63-5687

場所：町保健センター

月日	内容	時間
3/26	がんサロン・さよう (予約不要) がんピアサポート (要予約)	14:00～16:00

はまなすの会 ☎079-277-2764
健康福祉課 ☎82-0661

場所：町保健センター

月日	内容	時間
3/25	認知症家族の会 (ひまわり)	13:30～

地域包括支援センター ☎82-2079

赤ちゃんとお母さん

場所：さよう子育て支援センター

月日	内容	時間
3/9	0歳児教室 (7か月～1歳未満)	9:50～11:00
	0歳児教室 (2か月～6か月児)	10:20～11:30

健康福祉課 ☎82-0661

休日救急当直医 3月～4月

月日	医療機関名	電話番号
3/8	尾崎内科医院	77-0447
3/15	尾崎病院	77-0221
3/20	佐用中央病院	82-2154
3/22	佐用共立病院	82-2321
3/29	佐用中央病院	82-2154
4/5	佐用共立病院	82-2321
4/12	長田クリニック	88-1111
4/19	岡本医院	88-0605
4/26	尾崎病院	77-0221
4/29	佐用中央病院	82-2154

いずみ会会員募集
食を大切に丁寧な暮らしを始めませんか?

「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に、食生活改善や健康づくりに取り組むボランティア団体「佐用町いずみ会」。現在26人が活動しています。少し活動をのぞいて、私たちと一緒に楽しく“食”から健康づくりを始めませんか。

いずみ会とは

いずみ会(食生活改善推進員協議会)とは、県下37市町で、子どもからお年寄りまで幅広い年代を対象に地域に根ざした食育活動を実践しているボランティア団体です。

佐用町いずみ会は、昭和44年に設立され、これまで56年もの間、活動を続けています。



私たちのモットー

「私たちの健康は私たちの手で」をモットーに自分たちが育てた野菜や地元で採れた野菜を無駄なく使い、昔ながらの伝統食を大切にする「丁寧な暮らし」を勧めています。

どんな活動してるの?

保育園児や中学生を対象にした食育教室を行い、佐用の食の魅力や病気になりにくい体づくりについて伝えています。

また、フレイル予防などの健康課題にも仲間と取り組み、食を通じた健康づくりを実践しています。

主な活動例

- 5月 健康づくり研修
- 6月 熱中症予防料理
- 7月 七夕交流会 (子育て支援センター)
- 8月 夏野菜料理
- 9月 鯖寿司講習会
- 10月 中学生とおふくろ料理交流会
- 11月 園児と親子クッキング
- 12月 おせち料理
- 1月 高校生とこんにやく作り交流会
- 2月 ひなまつり料理

厚生労働大臣表彰を受賞

長年にわたり地域に根付き、住民の健康増進に貢献してきた活動が評価され、受賞しました。

受賞を受け、同会長の野村智里さん(栄町)は「これからも佐用ならではの食文化を後世につなげていけるように活動していきます。若い世代の会員もお待ちしております」と笑顔で話しました。



健康福祉課 ☎82-0661

column

地域包括支援センターだより

足元にご注意を。おうちでできる転倒予防



地域包括支援センター
☎82-2079

「ちよつとした段差で転びそうになったんや」とよく耳にします。転倒には、加齢による筋力やバランス能力の低下、身体の不調、薬剤など、さまざまな原因があります。

みなさんは、転倒しないようにどのようなことに気をつけていますか? 今回は、「住み慣れた自宅」でできる転倒予防を紹介します。床にある物はすべて転倒につながる可能性があります。まずは「整理整頓」が大切です。具体的には、

- ・物を床に置かない
- ・絨毯の下には滑り止めシートを敷き、玄関マットなど小さな敷物を置かない
- ・電源コードを歩く範囲にはわせない
- ・歩くところを決めておく

また、要介護認定を受けている場合は、介護保険サービス(福祉用具のレンタルや住宅改修など)を利用して、環境を整えることもできます。

さらに、「転んでも大げがをしない身体づくり」として、おもりを使ったいきいき百歳体操などで筋力をつけることも効果的です。今できることから、転倒予防に取り組んでみましょう。

久崎防災まち歩き

上月小中学校合同で、地域の魅力を発見する「地域探訪」学習を行い、佐用日本語学校の学生と一緒に久崎地域を訪れました。

地域の人から豪雨災害当時の話を聞いたり、フィールドワークを行ったりする中で、地域の特性を学び、防災意識を高めました。



実際の被災現場で当時の様子を聞きました

九九ボランティア

佐用小学校では、2年生の学習を支援するため、九九ボランティアを募集しました。

学校運営協議会委員の紹介やチラシを見た人、保護者など約10人からの協力があり、子どもたちは列をつくり、何度も九九を唱えながら、一生懸命覚ええました。



九九が合っているかを聞いてもらいました



コミュニティ・スクール

学校と地域、つながる一歩

佐用町では、令和7年4月、町内すべての小中学校に学校運営協議会が設置され、「コミュニティ・スクール」がスタートしました。
学校と地域が思いを共有し、子どもたちの成長を支えていくこの仕組み。立ち上げ当初は手探りの状態でしたが、話し合いを重ねながら、各学校や地域が特色を生かした取り組みを少しずつ形にしています。

学校運営協議会と交流会

地域コーディネーターの進行のもと、学校運営協議会委員と生徒会メンバーが交流会を行いました。目的は「生徒の声を聴くこと」。話し合いの中で「戦争を体験した人の話を聞きたい」という意見がまとまり、現在、実現に向けて準備を進めています。



地域の人と交流する機会になりました

教育せよう

教育 共育 協育

教育長 大森一繁

AIに「教育とは」と尋ねると、「人間が持つ可能性を引き出し、より良く生きるための力を育む営み」と回答しました。さらに、「教育は「空っぽの器に知識を流し込む作業」ではなく、「その人の中にすでにある種が芽吹くよう手助けする環境づくり」であるという考え方が、現代では主流になっていきます」と続きました。

まさに、従来の「教える教育(基盤)」から、「共に学び、共に育つ」共育(プロセス)、さらには「地域社会と連携する」協育(ネットワーク)へと、学校の役割が広がっていることを象徴しています。これは、佐用町がめざす『地域で育む子どもたち』「学校を核とした地域づくり」の推進とも合致するものです。学校・家庭・地域が連携・協働し、相互に育ちあひながら絆を深め、子どもたちの成長を支え、子どもたちが自分らしく、より豊かに成長していくことが何より重要です。

AIは知識こそ豊富ですが、実際の現場を知りません。『佐用町で育つ子どもたちを、佐用町の手で育てる』。目の前にいる子どもたちの明るい未来のため、みなさまと共に「協育」を実践していきたいと考えています。



タブレットを更新

ひろがる、デジタルの学び

佐用町では、令和7年度の夏に小中学生一人一台の学習用端末(タブレット)を更新しました。各学校ではこのタブレットを活用し、子どもたちの学びをより深める情報教育を進めています。

タブレットの活用は、調べ学習だけでなく、授業や家庭学習など、さまざまな場面で日常的に行われています。

「タブレットドリル」では、学校でも家庭でも学習でき、先生は子ども一人一人の取組状況や理解の定着度を確認し、声かけや支援につなげています。また、「デジタル日記」に取り組む学級もあり、文章に加え、写真や絵で表現し、友だちの日記を読み合うことで学びを深めています。

今後は教科書などのデジタル化が進み、タブレットは、子どもたちが考えを表現し、学びを深めるための道具として活用していきます。



自分で撮った写真を絵日記にできます

イベント

event information

令和8年度消防出初式

- 日時 4月5日㊤
午前10時～
- 会場 さよう文化情報センター
- アトラクション
午前11時から消防車両の展示やカラー放水を行います
- ☎企画防災課 ☎82-0664

光都チューリップフェア & ふれあいウォーク

- 光都チューリップ園
今年も約4万本のチューリップが咲き誇ります。
- 開園予定日 4月1日㊤
- 開園時間
午前9時～午後5時

●入園料・駐車料 無料

光都ふれあいウォーク

- 播磨科学公園都市内を約2時間散策します。
- 日時 4月11日㊤
午前8時30分集合
- 申込み メール、またはファクスで受け付けます。詳しくは、ホームページ  をご確認ください。
- ☎播磨高原広域事務組合 ☎0791-58-0575

認知症にならないための地域福祉研修会

- 日時 3月14日㊤
午後1時30分～3時30分
- 会場 さよう文化情報センター
- 演題 突然死、認知症にならないための部屋づくり

●参加費 無料

☎町社会福祉協議会 ☎78-0830

募集

invite information

お気軽にお越しください 今月のスマホ相談会

- 契約している会社やメーカーに関係なく、使い方やトラブルなどの相談ができます。
- 日時 3月16日㊤、17日㊤
・午前10時～12時30分
・午後1時30分～5時
- 場所 上月支所
1階多目的室
- 予約
ドコモショップ宍粟店
☎0120-630-068
- ☎情報政策課 ☎82-0690

スピカフェス2026 出演者募集

- 大撫山の新緑に囲まれた屋外特設ステージで、思う存分音楽やダンスで自分を表現してみませんか。
- 開催日 5月31日㊤
午前11時～
- 場所 スピカホール
- 出演資格
町内で活動している、活動したいグループまたは個人
- 申込期間
3月15日㊤午前9時～
4月9日㊤午後5時
※先着順。8組。

☎生涯学習課 ☎82-3336

ひめじ若者サポートステーション

- 就職への不安や悩みを持った若者や保護者を対象に、個別相談会を開催します。
- 日時 3月24日㊤
午前10時～午後1時まで
(1人1時間程度)
- 場所 役場本庁西館研修室
- 募集人数 3人
※予約制で先着順です。

☎商工観光課 ☎82-0670

お知らせ

information

マイナンバーカード受付 今月の日曜開庁日

- 日時 3月8日㊤
午前9時～午後3時
- 場所 住民課
- ☎住民課 ☎82-0660

リチウムイオン電池は 特殊ゴミです！

先日、にしはりまクリーンセンターで、「燃えないゴミ」で出された「リチウムイオンバッテリー」が発火する事例がありました。
こうした発火性のあるモバイルバッテリーや乾電池は、必ず機器から取り外して「特殊ゴミ」に分別して出してください。また、充電式の小型家電は、小型家電として廃棄してください。



☎クリーンセンター ☎82-0293

マイナンバーカードで 住所変更手続きを簡単に

町外への住所変更の手続きがオンラインでできる「引越しワンストップサービス」が利用できます。
町から転出するときに、このサービスを利用すれば窓口での手続きが不要になります。
※後日郵送対応が必要になる場合があります。



☎住民課 ☎82-0660

いざというとき、覚えて安心 「#7119」と「#8000」

救急安心センター事業

☎ #7119

急な病気やケガで、救急車を呼ぶべきか、病院に行くべきか、迷ったときの窓口です。

●対応時間 年中無休 24時間

子ども医療でんわ相談

☎ #8000

休日や夜間の子どもの急なけがや病気を、医師や看護師に相談できる窓口です。

●対応時間
[㊤～㊤] 午後6時～翌朝8時
[その他] 午前8時～翌朝8時

※姫路市救急医療電話相談は3月31日で終了します。

☎健康福祉課 ☎82-0661

令和8年 春の全国交通安全運動

交通ルール遵守と正しい交通マナーを習慣付けましょう。

- 運動期間
4月6日㊤～15日㊤
- 交通死亡事故ゼロをめざす日
4月10日㊤

☎企画防災課 ☎82-0664

個人情報のため非公開

お誕生おめでとう

名前 保護者 行政区

1月1日から2月10日届出分(敬称略)
戸籍上の漢字が表記できない場合があります

戸籍の窓口

〇〇人のうごき

2月10日現在()内は前月比

人口	14,280人	(-48)
男	6,902人	(-21)
女	7,378人	(-27)
世帯数	6,684戸	(-22)
出生	3人	死亡 38人
転入	17人	転出 30人

個人情報のため非公開

お悔やみ申し上げます

名前 年齢 行政区



完成したレシピ本を手にする給食センターのみなさん。「作ってみてねー」と呼びかけました。

待望の給食レシピ本が完成

給食が、家庭の食卓へ

「今日の給食、おいしかった!」そんな会話が家庭に広がることを願い、佐用町学校給食センターがレシピ集を作成しました。

佐用町学校給食センターは、学校給食の献立を家庭でも楽しんでもらおうと、『佐用町学校給食レシピ集』を作成しました。

人気メニューや地産地消の食材を使った献立など、主食・汁物・主菜・副菜あわせて12品を掲載。減塩や野菜摂取を意識した調理の工夫も紹介しています。

栄養教諭の花山朝子さんと村上志穂さんは「給食は、子どもたちの健やかな成長を支える大切な食事。冊子をきっかけに、食のことを家族で話してもらえたら」と話します。

学校給食センターは、この冊子を通じ、家庭・地域と連携した食育を進めていきます。



給食センター Instagram
sayocho_kyushoku

毎日の献立を公開中

▲ホームページ
レシピ公開中

